高等学校学習指導要領解説数学編第 1 章第 2 節 (2) (陶冶的な意義) (p.8) から

1 以下の文章の空白を埋めよ。

数学は()の思惟により創り出されるものであり、数学的な事実に関しては誰もが()な立場で議論をすることができる。そのような議論により、()的かつ論理的に自分の考えなどを説明する力は育成される。このようにして育成される力は、他教科などの学習や()生活などでも大いに役立つ。特に、グローバル化や情報化が進展する今日のような時代において、異なった文化的背景や()観をもった人たちと共に生きていく必要性の高まりを考慮すると、数学の学習を通して育成される、自らの考えや判断の()を明確にし、根拠を示しながら考えや判断についての的確な説明をして他に()を得る力はとりわけ重要な力であると言える。また、数学の学習を通して、()の学習や生活に数学を積極的に活用できるようにするとともに、()好奇心、豊かな感性、想像力、()力、洞察力、論理的な思考力、批判的な思考力、粘り強く考え抜く力などの()性の基礎を養うことも重要である。例えば、数学の問題を解こうとして容易に解けないとき、()的な数値や図形を使って考えたり、いくつかの場合を書き出してみたりして根気強く考え続け、問題が解けたとき得られる喜びは大きな()につながる。その自信が新たな問題に向かう意欲を育てることになるのである。問題がすぐには解けなくても根気強く()続けることで、いくつかの()の理解が深まることや新たな事実を()することもあり得るだろう。

2 内容から解答を導くポイントと考えたことを述べよ。

3 この問題の解答を自己評価し、
気づいたこと、感じたことを述べよ。

■ 5段階自己評価 ()

■